

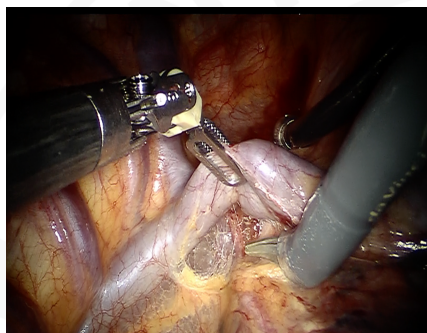
教室におけるロボット支援胸腔鏡手術

ロボット支援手術とは、執刀医が手術支援ロボットを操作しながら行う胸腔鏡手術の事を言います。

現在当院では、「ダヴィンチ」という手術支援ロボットを用いており、ロボット支援手術を取り入れているほとんどの病院で使用されています。ロボットといっても、勝手に動くのではなく、別の場所で術者が遠隔操作をします。人間の手より多くの間接を持つ道具を、3本体内に入れて、術者の思い通りの自在な動きで手術を進めていきます。

ロボット支援手術の利点は、大きく開胸せずに、

① 自在に動く「小さな手」の様な道具で手術ができる事、



② 人間の動作で起こり得る手の震えや誤動作、カメラの手ぶれなどを修正できる事、



(インチュイティブサージカル合同会社ホームページより)

③ 執刀医は立体的に術野を認識できる事、



(インチュイティブサージカル合同会社ホームページより)

等があり、難度の高い手術がより簡便になっていく可能性があります。当院では、通常の胸腔鏡下食道癌手術も十分安全に行なっておりますが、ロボット支援手術も、より安全な手術を目指して多くの患者さんに行っております。費用は、保険診療で行っており、通常の胸腔鏡下手術と変わりません。

